

(様式 1)

# 令和 5 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立第一寺島小学校
校長名	森 村 聡 彦

## 1 本校の学力に関する状況

### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 5年理科と6年英語の「主体的に学習に取り組む態度」を除き、調査学年の全ての教科、観点で全国平均と同等か、上回っている。</li><li>・ 国語の正答率は例年通り際だって高く、全ての学年で観点の「主体的に学習に取り組む態度」は15ポイント以上、中には20ポイントも上回った学年もあり、「思考・判断・表現」は全学年で6ポイント以上、上回っている。</li><li>・ 昨年全国平均を下回った現5年生の社会は、授業を工夫して興味関心を喚起して指導した結果、3観点全てで平均を7ポイント以上上回った。3観点総計では-5.5から+25.3という驚異的な飛躍である。昨年度と今年度担当した教員もこの成果に、指導の方向が正しく、揺るぎない自信をもつことができた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 5年理科の指導では、知識・技能・思考など優れた部分を生かし、児童が主体的に探求していく学習を多く取り入れる。</li><li>・ 6年英語の全国平均との差は2ポイント以内であり、指導方法を工夫して学習への興味関心を喚起し、知識技能の定着を図る。</li><li>・ 読書に親しむ指導を継続してきた成果が、国語を始めとする各教科の理解習熟に確実な学力として現れている。今後も週3回、全校一斉に静寂の中で朝読書に取り組む。</li><li>・ 本校の例年の高い平均点は、高得点者によって得られたのではなく、D・E層の児童も最後まで課題に取り組んでいる結果である。何事にも真摯に最後まで取り組む姿勢を、継続して育成していくことの重要性を再認識した。</li></ul>

### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 規範意識のポイントは安定して全国値を上回り、高学年で高い数値だった。また、学習意欲も総じて高い。</li><li>・ 成功体験や自信、充実感と向上心も数値が昨年同様安定して高くなっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2年生の学習意欲と3年生の学習習慣がやや下回っている。成功体験をさせ自己肯定感を育むなど、基礎構築期にあたる低学年で、前向きに学習に取り組む態度を育成する必要がある。ただ、3年生の規範意識が飛び抜けて非常に高い数値を示しており、今後の学校生活での指導に生かす素地となる。</li></ul>

### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高学年児童の授業規律や学校生活の規範意識が安定して確実に育てられており、中・低学年を含めて学校内の全ての学級が落ち着いて学習に集中できる環境にある。</li><li>・ D, E層の重点的な学力支援が必要な児童も、課題に真剣に向き合って最後まで学習に取り</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高学年児童の、学習や学校行事などの活動に対して最後まで真面目に向き合う態度は、低・中学年の時から育まれたものである。「一生懸命は、かっこいい」という、当たり前だが大切な価値観を今後も着実に全校児童に身に付けさせたい。</li></ul>

<p>組むため、全体の平均点が底上げされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の学習用具の着実な準備や、期限を守った課題の提出などについて、家庭の理解と協力を教員が粘り強く働きかけてきたことも学習環境の整備に効果を上げており、児童の学びに向かう姿勢が向上している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私立中学校進学率は過去3年間16%前後で変わりなく、地元公立中学校進学志向が高いが、学力は安定して高い。その先にある、高等学校や専門学校、大学など自ら学びたい分野や領域を見通して、得意な教科をさらに深く学ぶ目的意識や意欲をもたせたい。</li> </ul>
--	---

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 学力調査結果D・E層を意識した集中的な支援

- キャリアアップタイムの発展継続と着実な実施
  - ・ 水曜日の5時間目に設定し、D・E層の児童への算数の補習を行う。C層以上の児童は別の課題を行う。(令和4年度・年間19回実施 令和5年度・年間17回実施予定)
  - ・ 6年…小テストを行い、間違えた問題を類似問題で復習。満点の児童は別課題を自主学習する。
  - ・ 2～5年…復習問題を学習する。(ミライシード、ふりかえりシート、まるぐランド)
- パワーアップタイムの継続実施
  - ・ D・E層の児童に対して、無理のない放課後学習の時間を確保し、補習を行う。
  - ・ スモールステップでの学習を積み上げる。

【→オンラインを駆使して会議を精選し、放課後に児童の実態に合った授業準備や教材研究、補習の時間を確保する。teamsを使用して情報連絡、会議記録の共有を行う】

### (2) 読書および家庭学習・自主学習の継続した一層の強化充実

- 読書習慣の定着維持
  - ・ 週3日の朝読書を共通理解のもと、どの学級でも必ず実施する。全校が静寂の中で本の世界に集中する時間を創出し、学習への集中力を育成して今後も継続して読解力の養成に努める。
  - ・ 教室や学校図書館の在庫充実に努める。
- 家庭学習での保護者との連携
  - ・ 年間3回2週間ずつの特設「家庭学習パワーアップ週間」を実施する。
  - ・ 日常的に家庭学習課題を課し、保護者との連携で確実に実施する。

### (3) 中学進学後を見通したキャリア教育 ～応用力を身に付ける発展的な学習

- これから先のことを予測する力を育成する
  - ・ 5, 6年生には毎週水曜日の朝学習で「よむYOMU問題」に取り組みせ、読解力を育成するとともに、内容についての問題提起をして社会事象や自然現象に興味関心をもたせる。
  - ・ 「学んだことから類推する学習」「調べたことを比較する学習」「分かったことを新しい知識として生かす学習」を授業に取り入れた指導計画を立てる。

## 3 「令和6年度 墨田区学習状況調査」における目標

### (1) 目標

- ・ 全学年全教科の調査値が、**全ての観点で全国標準スコアを5ポイント**（昨年度目標は3ポイント）以上越えるよう課題を克服し、学力の充実を図る。
- ・ 「一生懸命は、かっこいい」という、**大切な価値観と諦めない姿勢**を全ての児童に身に付けさせる。